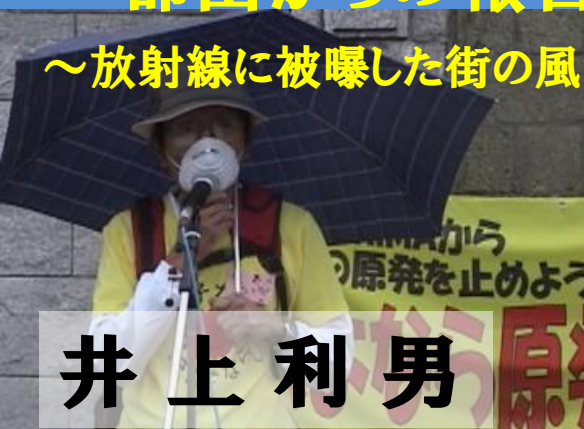


## 郡山からの報告

～放射線に被曝した街の風景～



### 井上利男

#### 講師紹介

子どもたちの安全な教育を求める「ふくしま集団疎開裁判の会」代表。ブログ「原子力発電原爆の子」にて原発事故被曝地・郡山市から発信。訳書に、レベッカ・ソルニット『暗闇のなかの希望—非暴力からはじまる新しい時代』など。

福島第一原発事故は、いまだ終息していない。事故の原因は解明されず、福島県民は、被害のなかで生活を強いられている。日本社会はいま、脱原発を模索し始めたところだが、政府は、近視眼的な経済中心主義と成長路線を追い求めようとしている。また、原発再稼働をめぐる「地元」と「電力消費地」といった分断も生じている。

エネルギー問題は、日本の文明全体、わたしたちの生活と生命そのもの、そして政治の在り方、民主主義の根幹を問う問題です。過去を問いなおし、現状を直視し、未来を展望するために、二人の講師をお招きして、福島原発事故後、私たちが考えるべきこと、なすべきことについて、みなで考えましょう。

## 原発事故と 未来の縮小社会

松久寛  
原発も経済成長もいらない  
幸福な社会を目指して

縮小社会  
への道

### 松久寛

#### 講師紹介

元京都大学大学院工学研究科教授。京都大学安全センターを設立した後、現在は縮小社会研究会主催。著書に、『縮小社会への道—原発も経済成長もいらない幸福な社会をめざして』など。

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： 7月3日(火)

18:00-20:00

会場： 至誠館 1 番教室

来聴歓迎  
予約不要

同志社大学  
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp